

65年の歴史に幕……

地域の方から親しまれ続けた磯分内中学校

昭和22年に開校して65年間にわたり地域の教育を支えてきた磯分内中学校。2,282人もの卒業生を輩出し、子どもたちの成長を見守ってきた学び舎が、長い歴史に幕を下ろしました。在校生は磯分内中学校で学んだことを胸に刻んで4月から標茶中学校に通学し、新たな一歩を踏み出しています。



磯分内中学校の歴史 ～ Photo Memory ～





磯分内中学校の沿革

昭和22年 5月	標茶村立磯分内中学校として認可
7月	上御卒別に分校を設置
25年11月	標茶町立磯分内中学校となる
26年 5月	標茶高校磯分内分校（定時制）併設
27年 4月	上御卒別分校独立する
31年 2月	粉ミルク給食開始
33年 3月	標茶高校磯分内分校閉校
46年 2月	新校舎・体育館落成式
52年10月	開校30周年記念式典
平成 8年 9月	インターネット用パソコンの設置
10月	開校50周年記念式典・祝賀会
20年 3月	開校60周年記念「あゆみ」発行
21年 4月	1・2年複式学級となる
24年 3月	閉校式・惜しむ会

（記念誌から抜粋）

校旗



校章



柏の葉を三方に、熊牛原野の大地をおおつ熊笹を配している。

学校教育目標

一 強い学力のある生徒
二 話し合える生徒
三 うるおいのある生徒
四 けじめのある生徒
五 強じんな体をもつ生徒

校歌

作詞 作曲 中野 一雄

一 阿寒の嶺を
鈴蘭香る
厳しく聳えたつ
見よ見よ磯中
自由の学舎

二 愛の真心
朝な夕なに
郷土に誇たり
見よ見よ磯中
自由の学舎

三 星経る幾度
東西文化の
栄え輝く
見よ見よ磯中
自由の学舎

四 霊峰阿寒を
若き希望を
捧けて進まん
見よ見よ磯中
自由の学舎

雲井に望み
熊牛の野に
我等が母校
自由の学舎
正義の心
いそしみて
我等が母校
自由の学舎
伝統受けて
粹美をこらし
我等が母校
自由の学舎
窓外に
力の限り
我等が母校
自由の学舎

